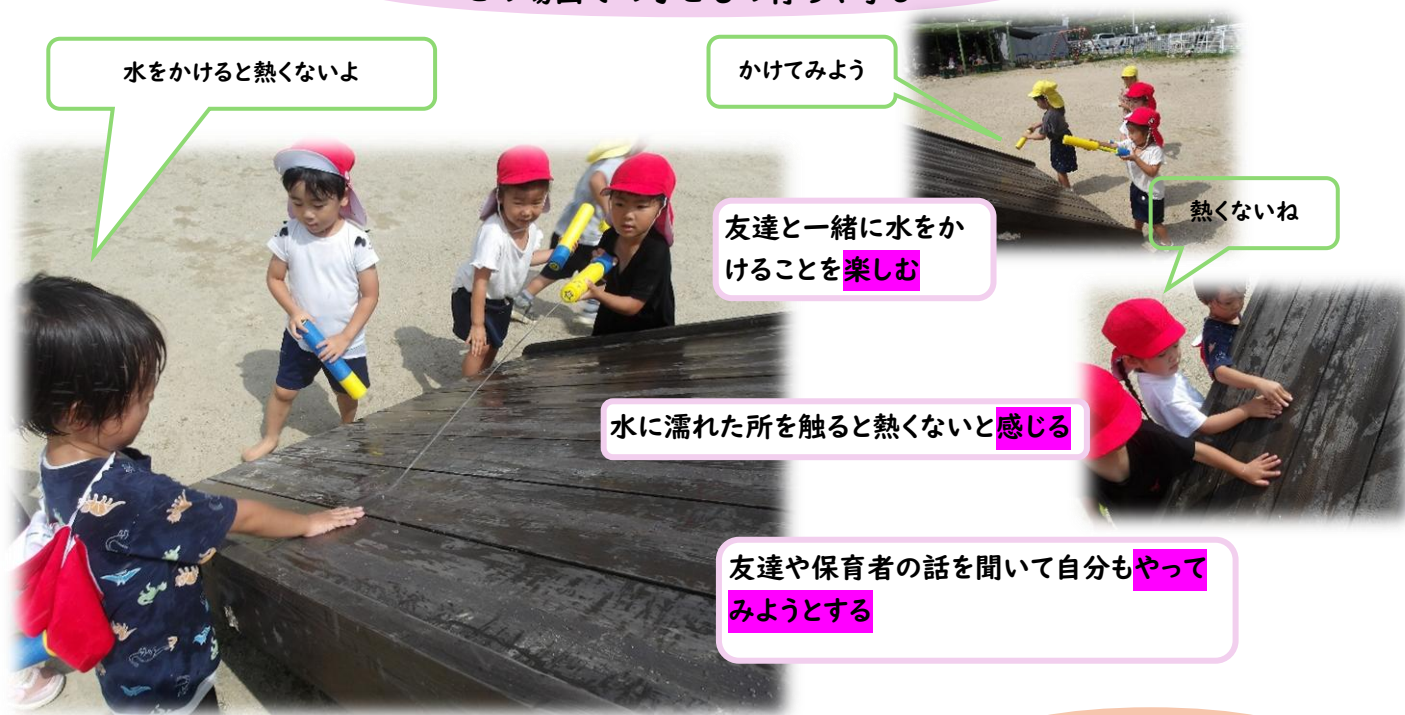


『熱くないよ』 3歳児 7月 伏見こども園

エピソード

水鉄砲で遊ぶことが好きな子ども達。思い切り水鉄砲で遊べるように園庭の広いところにタライを用意しておきました。「空まで届くかな？」と空に向けて飛ばしたり、地面に水を飛ばして「○」をkaitariして「たこやきみたい」と喜んで遊んだりしている中で、Aくんが「伏見スライダーにかけてみよう」と滑面に水をかけました。水をかけた所を触ったAくんが「熱くないよ」と言ったので、保育者も触てみると「本当だ、熱くないね」そして「はじめは熱かったの？」と聞くと「うん。水をかけると熱くないよ。」と教えてくれました。保育者もAくんと一緒に驚いていると、周りの友達もAくんと同じようにして「熱くないね」と遊び始めました。子ども達は、何度も水をかけたり触ったりして確かめながら遊んでいました。

この場面での子どもの育ちや学び



保育者の思い

- ・水鉄砲で遊ぶことが好きな子ども達が思い切り遊べるように、タライを園庭の広くあいている所に準備しました。
- ・水鉄砲の遊びでは、的を狙って水を飛ばすだけでなく、子ども達はいろいろな遊び方を経験しているなと思いました。知っていることとは違うことや意外なことに驚き保育者に知らせたり、友達の様子を見て自分もやってみようとしたりする姿があるなと感じました。
- ・Aくんのつぶやきを聞いて、一緒に水鉄砲で遊んでいた子ども達も「ここにかけろよ」「本当や、あつくない」などと言葉でのやり取りを楽しんだり、滑面の熱さの感覚を触って確かめたりしているように見えました。
- ・水で濡れると冷たくなるということを知って、滑面を濡らそうと友達と一緒に水鉄砲で水をかけることを楽しんでいる様子から、友達と一緒に遊ぶ姿が増えてきたなと嬉しく思いました。

家庭だったら・・・

3歳児にとって、自分の気持ちを言葉にするのはまだ難しいこともあります。だからこそ、子どもたちが黙々と夢中で何かを繰り返している姿に出会った時、私たちは「心の中でどんなことをつぶやいているのだろうと想像を巡らせます。Aくん達が「熱くない」と言い合いながら、何度も繰り返しあそんでいる姿は、まさにそんな心踊る瞬間だったのでしょ。

ご家庭でも子ども達が夢中になっている姿を見かけたら、ぜひその心の中をそっと想像しながら温かく見守っててください。